

2022年1月20日 全8頁

Indicators Update

2021年12月貿易統計

輸出数量の回復が鈍く 10-12月期の外需寄与度はゼロ近傍に

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2021年12月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+17.5%と10カ月連続で増加した。季節調整値では前月比▲0.2%と小幅ながら3カ月ぶりに減少した。輸出価格の上昇が輸出金額を下支えしたが、輸出数量の減少がこれを上回った。輸入金額は前年比+41.1%と大幅増が続いている。貿易収支（季節調整値）は▲4,353億円と、8カ月連続の赤字であった。また2021年10-12月期の貿易収支（同）は▲1兆3,270億円と、7-9月期（同、▲9,278億円）から赤字幅が拡大した。ただし数量ベースで見れば輸出入ともに同程度の伸び率であったことから、10-12月期の実質GDP成長率における外需寄与度はゼロ近傍になるとみている。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲2.2%と3カ月ぶりに減少した。米国向け（同+2.2%）が堅調に推移する一方で、EU向け（同▲4.6%）やアジア向け（同▲3.3%）が減少に転じ全体を押し下げた。
- 先行きの輸出は緩やかな増加基調を辿るだろう。米国向けを中心に主力の自動車関連財で挽回輸出が進むとみられる。ただし、世界各国で新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大が続いており、各国における消費機会の減少が日本の輸出の下振れリスクとなる点には注意が必要だ。

【貿易金額】輸出数量は持ち直しの勢いが鈍化

2021年12月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+17.5%と10カ月連続で増加した（**図表1**）。季節調整値では前月比▲0.2%と小幅ながら3カ月ぶりに減少した。輸出価格の上昇が輸出金額を下支えしたが、輸出数量の減少がこれを上回った。輸出数量は供給制約によって急減した2021年夏から回復傾向にあるとはいえ、水準で見れば依然として低調であり、持ち直しの勢いはやや弱い。

輸入金額は前年比+41.1%と大幅増が続いている。品目別では原油及び粗油などの価格が高止まりしているエネルギー品目が押し上げた。一方、季節調整値では前月比▲0.7%と5カ月ぶりに減少した。輸入金額の変動を数量・価格に要因分解すると、輸入数量（大和総研による季節調整値）は同▲2.3%、輸入価格（同）は同+1.6%となった。世界的な資源高や円安によって輸入価格が上昇しているとみられる。

貿易収支は▲5,824億円と前月から赤字幅が縮小した。季節調整値で見ると▲4,353億円と、8カ月連続の赤字であった。また2021年10-12月期（季節調整値）は▲1兆3,270億円と、7-9月期（同、▲9,278億円）から赤字幅が拡大したが、輸入金額の増加は価格の上昇によるところが大きかった。数量ベースで見れば輸出入ともに同程度の伸び率であったことから、10-12月期の実質GDP成長率における外需寄与度はゼロ近傍になるとみている。

なお、2021年の貿易収支は▲1兆4,722億円となり、貿易黒字だった2020年（+3,883億円）から貿易赤字に転じた。2020年はコロナ禍によって内需が縮小し輸入金額が大幅に減少したが、最大の輸出先である中国経済がいち早く持ち直したことで輸出の減少幅は比較的小さかった。これに対し、2021年は資源高などを背景に輸入金額が急伸した一方、供給制約によって輸出金額の増加率は相対的に小さくなった。

図表1：貿易統計の概況

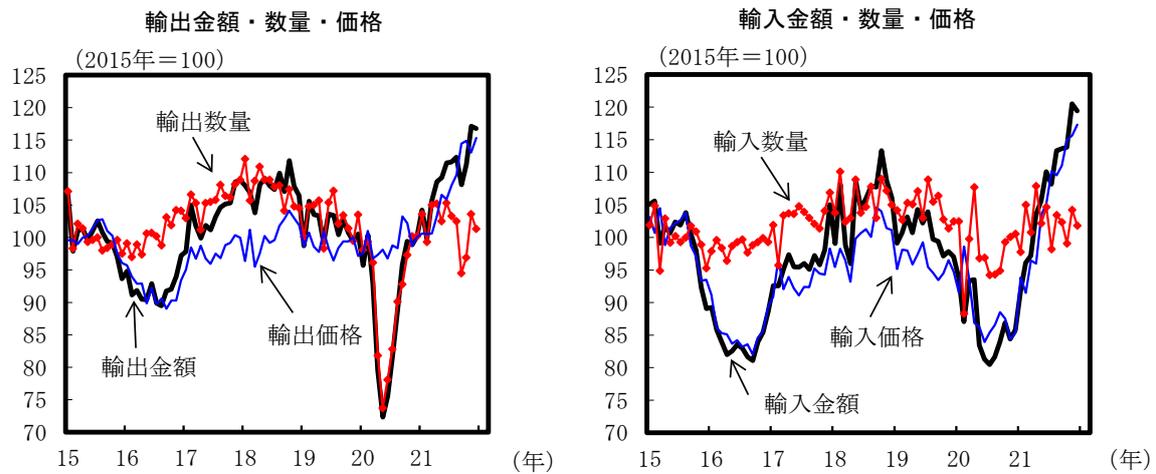
		2021年									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
原系列 前年比 %	輸出金額	38.0	49.6	48.6	37.0	26.2	13.0	9.4	20.5	17.5	
	コンセンサス									15.9	
	DIRエコノミスト予想									16.2	
	輸入金額	12.7	27.7	32.5	28.1	44.5	38.3	26.8	43.8	41.1	
	輸出数量	28.4	38.5	37.1	25.2	13.7	3.2	▲2.6	4.7	2.0	
	価格	7.4	8.0	8.4	9.5	11.0	9.5	12.3	15.1	15.2	
	輸入数量	1.2	6.8	8.2	2.0	14.5	7.5	▲3.0	6.1	1.0	
価格	11.4	19.5	22.5	25.6	26.2	28.7	30.8	35.6	39.7		
	貿易収支(億円)	2,488	▲1,934	3,789	4,358	▲6,431	▲6,296	▲739	▲9,556	▲5,824	
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	2.8	0.5	2.1	0.2	0.7	▲3.7	2.8	5.2	▲0.2	
	数量	0.2	▲2.6	2.7	▲1.9	▲0.8	▲7.8	2.5	6.9	▲2.2	
	価格	2.6	3.2	▲0.6	2.1	1.4	4.5	0.3	▲1.6	2.0	
	輸入金額	6.5	1.8	4.0	▲1.5	4.7	0.3	0.2	5.6	▲0.7	
	数量	7.0	▲5.3	2.4	▲6.2	5.3	▲1.1	▲3.2	5.2	▲2.3	
価格	▲0.5	7.4	1.5	4.9	▲0.6	1.4	3.5	0.4	1.6		
	貿易収支(億円)	653	▲199	▲1,474	▲251	▲3,081	▲5,946	▲4,178	▲4,739	▲4,353	
	税関長公示レート	109.56	108.80	109.50	110.55	109.89	109.87	111.42	113.95	113.95	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

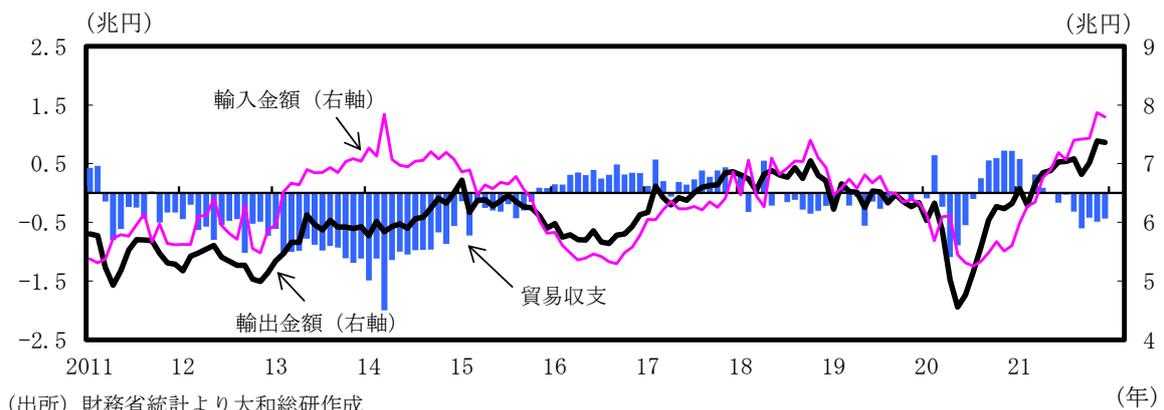
図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】自動車輸出の回復ペースが鈍化し全体は減少に転じる

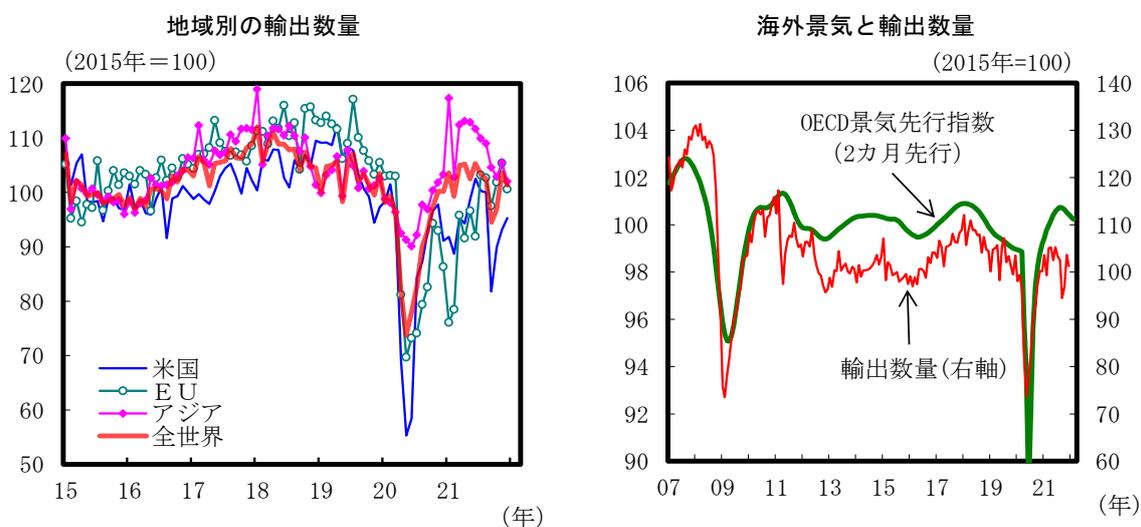
12月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲2.2%と3カ月ぶりに減少した。米国向け（同+2.2%）が堅調に推移する一方で、EU向け（同▲4.6%）やアジア向け（同▲3.3%）が減少に転じ全体を押し下げた。

米国向けは3カ月連続で増加した。自動車輸出は回復ペースが鈍化した。依然としてけん引役となっているほか、電算機類の部分品が全体を押し上げた。電算機類の部分品はこのところ減少傾向にあったが12月は急増しており、世界的な半導体不足によるサプライチェーンの混乱が緩和しつつあることを示唆する内容であった。他方、2021年9月以降は半導体等製造装置の輸出が高水準で推移しており、半導体不足を背景に設備増強を急ぐ動きが見られる。

EU向けは3カ月ぶりに減少した。自動車輸出の回復に急ブレーキがかかり、わずかな押し上げにとどまった。ユーロ圏における新車登録台数が低調であったことに加え、電気自動車（EV）へのシフトによって日本からの輸出が増加しづらくなっている可能性がある。その他の品目では、プラスチックや原動機、電算機類の部分品といった中間財が減少した。ユーロ圏の12月の鉱工業生産指数はまだ公表されていないが、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大を背景に生産活動が鈍化している可能性がある。

アジア向けは2カ月ぶりに減少した。中国向けを中心に自動車輸出の増加が続いているが、鉄鋼の減少が主な下押し要因となった。中国では不動産開発企業の債務問題を背景に建設活動が停滞しているため、主要な資材である鉄鋼の需要が減少したとみられる。他方、需要の高まりが指摘されている半導体等製造装置は小幅な増加にとどまった。アジア向け半導体等製造装置は欧米向けに比べて早い段階で高水準に達していたため、設備投資需要が一服している可能性がある。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6カ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】供給制約の緩和が進み自動車輸出を中心に増加が継続

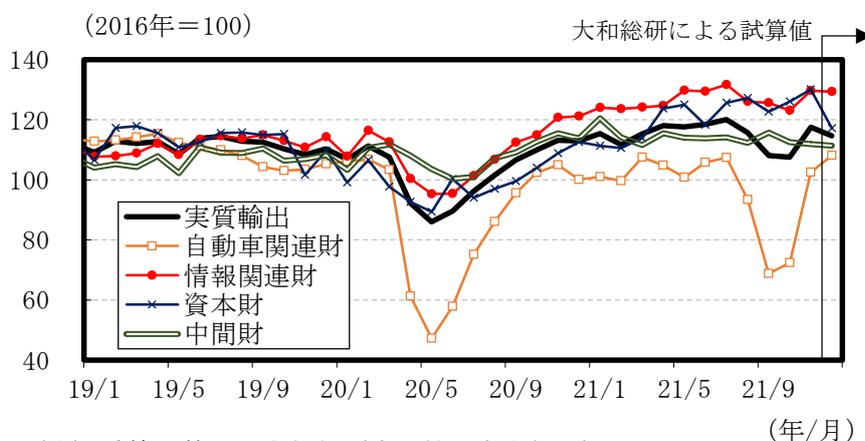
先行きの輸出は米国向けを中心に増加基調が継続するとみている。足元では半導体不足によるトヨタ自動車の減産計画が報じられたが、半導体不足は欧州¹と同様に日本でも徐々に緩和されるとみられ、主力の自動車関連財では緩やかながらも挽回輸出が進むだろう（**図表 5**）。また半導体不足を背景に半導体製造装置の輸出が好調を維持しており、全体を下支えする要因となるとみている。ただし、世界各国で新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大が続いており、各国における消費機会の減少が日本の輸出の下振れリスクとなる点には注意が必要だ。

地域別に見ると、米国向けは増加基調を維持するとみている。12月の米小売売上高は前月比▲1.9%と減少に転じたが、これは年末商戦が前倒しされた反動減や港湾の混雑などの一時的な要因によるものとみられる。均して見れば、個人消費は景気拡大に沿って堅調な推移を辿るとみられることから、日本からの輸出も増加が継続する公算が大きい。

欧州向けは感染拡大の頭打ちに伴って緩やかに増加するとみている。欧州ではオミクロン株が猛威を振るっているが、英国などでは人出の減少などを背景に新規感染者数がピークアウトしたとみられる。感染拡大防止策が緩和された地域もあることから、消費機会は徐々に増加するだろう。他方、足元では12月のユーロ圏のCPIが速報ベースで前年比+5.0%と過去最高を更新し、個人消費を抑制している。日本からの輸出財の単価が上昇しても、価格上昇に伴う買い控えによって輸出数量が伸び悩み、輸出金額の上昇が小幅にとどまる可能性がある。

中国向けは横ばい圏で推移するとみている。中国では2022年秋の共産党大会に向けて景気が加速するとみられるが、世界的にオミクロン株が拡大する中では、ゼロコロナ政策のもとで消費が急拡大する姿は想定しづらい。また中国は東南アジアで生産された財を日本に再輸出したり、日本からの輸入財を組み立てたりするハブの役割を担っている。中国で厳格なロックダウン（都市封鎖）が実施されれば、日本からの中間財輸出が減少するほか、部材供給が滞り日本の生産活動を抑制するなど、供給網に悪影響をもたらす可能性には注意すべきだ。

図表 5：日本の財別実質輸出（季節調整値）

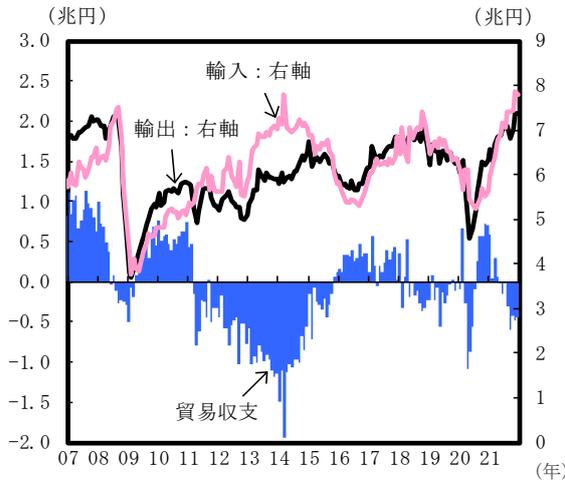


(注) 季節調整は日本銀行（直近値は大和総研）による。
 (出所) 日本銀行、財務省統計より大和総研作成

¹ 詳細は近藤智也「[2022年の欧州経済見通し](#)」（大和総研レポート、2021年12月21日）を参照。

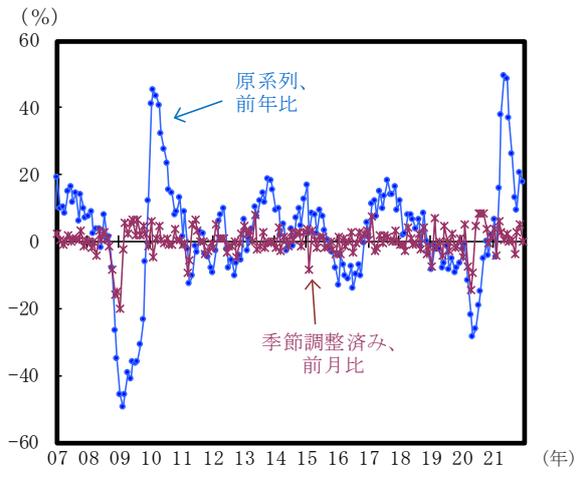
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

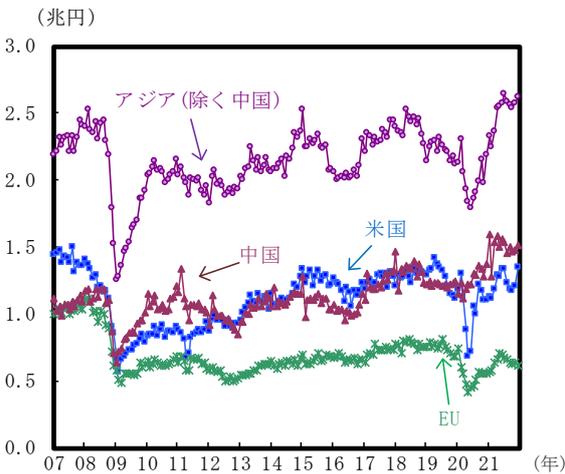


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

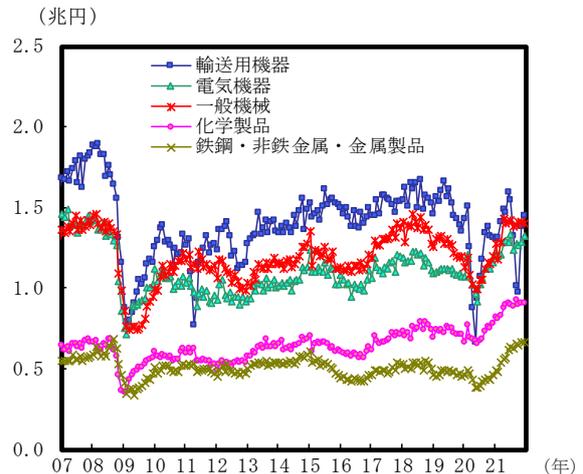


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

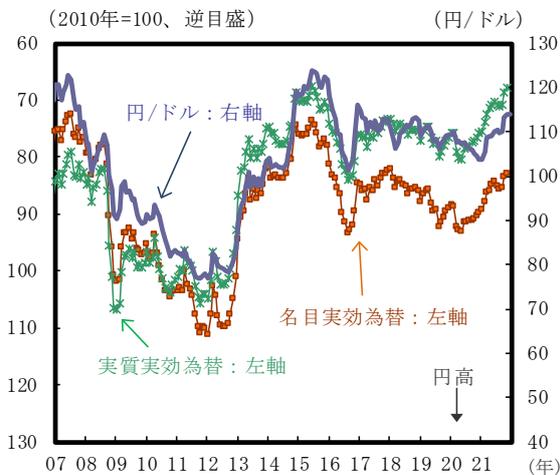


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

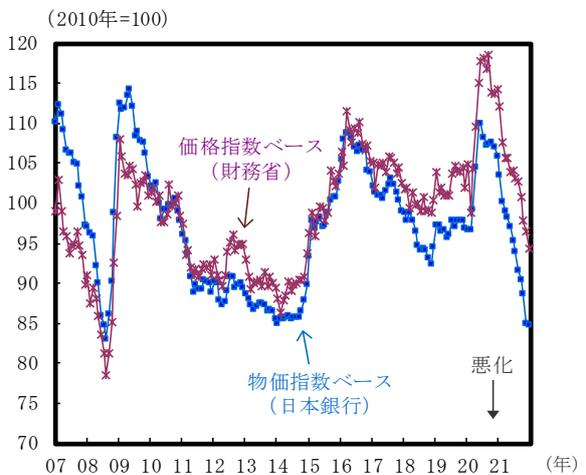


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	37.0	26.2	13.0	9.4	20.5	17.5	100.0	17.5
食料品	25.6	29.2	22.6	17.2	18.5	21.3	1.3	0.3
原料品	50.4	48.9	35.8	18.5	26.1	12.1	1.6	0.2
鉱物性燃料	133.2	153.5	167.8	210.0	166.4	84.2	1.3	0.7
化学製品	33.1	28.5	27.3	18.0	20.2	15.6	12.2	1.9
原料別製品	55.1	43.6	42.8	37.2	44.4	35.5	12.0	3.7
鉄鋼	88.3	83.6	94.4	80.1	87.8	75.1	4.8	2.4
非鉄金属	31.5	13.3	14.5	20.5	27.7	26.1	2.3	0.6
金属製品	50.0	29.1	23.1	13.0	11.2	6.0	1.5	0.1
一般機械	35.8	31.7	23.7	22.9	22.6	17.6	19.9	3.5
電気機器	30.9	17.1	14.4	10.5	14.3	14.9	18.6	2.8
半導体等電子部品	27.8	14.9	13.7	15.1	20.8	25.9	6.2	1.5
I C	24.4	12.7	8.7	13.3	20.3	26.9	4.3	1.1
映像機器	14.6	15.6	5.3	▲20.4	▲10.5			
映像記録・再生機器	17.6	14.4	6.2	▲23.0	▲11.5	▲8.1	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	137.0	25.5	0.6	20.6	7.2	2.9	0.2	0.0
電気回路等の機器	33.4	25.4	20.4	10.9	10.0	10.1	2.5	0.3
輸送用機器	44.8	11.5	▲24.5	▲28.7	4.3	10.2	19.7	2.1
自動車	43.5	4.0	▲40.3	▲36.7	4.1	17.5	14.0	2.5
自動車の部分品	60.1	28.7	9.9	▲7.0	0.7	▲0.3	4.1	▲0.0
その他	21.9	27.7	13.5	17.8	29.5	16.7	13.5	2.3
科学光学機器	19.8	21.6	15.8	14.6	26.8	14.1	2.9	0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	26.8	22.8	▲3.3	0.3	10.0	22.1	100.0	22.1
食料品	51.9	66.0	23.2	58.1	18.9	48.8	1.0	0.4
原料品	21.8	60.5	18.0	42.5	6.7	21.9	0.6	0.1
鉱物性燃料	32.3	595.0	2673.2	693.6	739.5	100.4	0.1	0.0
化学製品	39.5	55.0	24.1	28.9	26.3	13.5	6.6	1.0
原料別製品	51.9	44.2	21.9	40.3	28.1	36.0	7.1	2.3
鉄鋼	35.0	48.6	59.7	104.8	70.6	121.6	1.6	1.0
非鉄金属	75.7	52.4	35.8	83.9	52.5	74.2	0.9	0.4
金属製品	43.1	26.0	14.1	11.8	0.2	▲1.2	1.5	▲0.0
一般機械	47.8	54.2	40.7	29.8	20.4	35.0	24.6	7.8
電気機器	35.5	23.6	5.8	17.0	21.8	26.8	14.5	3.7
半導体等電子部品	51.4	37.4	27.1	26.2	21.9	24.9	1.4	0.3
I C	32.4	21.0	10.4	12.6	22.3	12.9	0.6	0.1
映像機器	3.0	36.1	▲5.8	▲15.6	▲12.2			
映像記録・再生機器	25.1	41.1	▲6.0	▲24.6	▲14.3	▲5.8	0.6	▲0.0
音響・映像機器の部分品	659.1	168.6	78.7	41.8	74.2	10.1	0.1	0.0
電気回路等の機器	25.6	20.6	▲0.9	13.2	13.1	13.4	1.4	0.2
輸送用機器	11.2	▲8.3	▲38.4	▲39.1	▲8.7	10.4	34.5	4.0
自動車	10.7	▲12.4	▲47.0	▲46.4	▲11.5	11.9	27.5	3.6
自動車の部分品	45.1	29.8	13.2	0.8	13.4	12.1	5.7	0.8
その他	16.3	28.7	▲6.1	22.9	24.7	25.7	10.9	2.7
科学光学機器	36.3	42.4	19.5	29.3	17.8	35.9	2.5	0.8

EU向け輸出金額 内訳								
	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	46.1	29.9	12.1	12.1	16.4	9.7	100.0	9.7
食料品	87.7	78.7	55.7	50.2	47.7	41.8	0.7	0.2
原料品	42.4	31.6	44.4	10.6	46.9	11.7	0.9	0.1
鉱物性燃料	95.8	30.6	131.0	957.7	55.0	13.3	0.3	0.0
化学製品	30.7	25.3	38.0	27.6	19.2	9.1	11.6	1.1
原料別製品	94.0	111.5	60.9	45.9	42.0	24.5	7.1	1.5
鉄鋼	445.8	495.3	140.9	192.2	140.1	162.1	1.6	1.1
非鉄金属	36.5	77.3	206.4	13.0	46.1	18.6	0.8	0.1
金属製品	42.7	46.7	29.8	17.5	19.8	▲11.5	1.4	▲0.2
一般機械	51.2	47.2	31.0	25.8	18.0	9.2	23.7	2.2
電気機器	40.4	22.8	18.4	16.2	5.8	▲5.6	17.2	▲1.1
半導体等電子部品	47.8	25.5	27.0	7.1	13.4	15.4	2.4	0.4
I C	39.5	26.5	13.8	▲0.6	9.0	14.4	1.0	0.1
映像機器	22.2	6.0	17.0	▲24.7	▲11.8			
映像記録・再生機器	31.1	1.6	19.1	▲21.1	▲11.4	▲33.3	0.7	▲0.4
音響・映像機器の部分品	75.2	5.2	▲4.8	▲11.4	55.7	11.2	0.2	0.0
電気回路等の機器	73.5	63.0	39.3	43.2	24.8	3.3	1.6	0.1
輸送用機器	41.2	3.1	▲36.8	▲26.0	3.0	12.7	23.2	2.9
自動車	9.6	▲18.3	▲58.5	▲34.2	17.9	50.0	15.2	5.6
自動車の部分品	73.7	17.9	▲5.8	▲21.5	▲36.4	▲39.4	4.2	▲3.0
その他	44.6	27.9	32.3	20.0	35.3	19.5	15.4	2.8
科学光学機器	54.3	32.2	28.6	35.7	40.3	9.2	4.0	0.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	32.5	26.1	21.3	15.0	24.7	16.6	100.0	16.6
食料品	18.6	18.8	22.2	10.9	18.7	14.9	1.7	0.3
原料品	52.4	46.7	40.1	17.8	27.5	11.0	2.3	0.3
鉱物性燃料	126.2	32.0	79.7	125.3	128.7	27.8	1.3	0.3
化学製品	33.7	29.0	26.8	15.5	19.8	14.3	15.8	2.3
原料別製品	55.6	42.1	42.1	35.6	45.6	35.9	14.4	4.4
鉄鋼	90.0	83.1	91.5	76.4	92.2	72.2	6.0	2.9
非鉄金属	35.7	18.5	13.1	20.5	26.0	24.8	3.5	0.8
金属製品	49.4	23.5	26.5	17.7	14.5	11.2	1.6	0.2
一般機械	26.8	20.5	16.8	19.9	23.6	12.9	18.9	2.5
電気機器	27.6	15.4	15.5	9.4	14.4	16.0	22.8	3.7
半導体等電子部品	25.9	13.2	12.1	14.8	20.7	26.0	9.7	2.3
I C	23.7	11.9	8.3	13.5	20.3	27.6	7.1	1.8
映像機器	5.6	▲1.3	16.1	▲16.1	▲1.3			
映像記録・再生機器	6.1	2.8	21.9	▲17.8	▲2.4	10.0	0.2	0.0
音響・映像機器の部分品	74.4	4.3	▲13.5	25.2	▲13.1	▲7.8	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	30.7	22.1	20.3	9.5	9.1	10.6	3.3	0.4
輸送用機器	32.6	16.2	▲21.2	▲23.2	8.2	5.3	7.7	0.4
自動車	30.8	9.3	▲47.3	▲35.4	3.4	17.3	4.2	0.7
自動車の部分品	59.9	25.4	16.6	▲4.5	3.5	6.3	3.0	0.2
その他	21.9	35.8	30.5	16.4	33.4	15.8	15.2	2.4
科学光学機器	9.9	15.6	13.1	6.7	25.6	10.8	3.3	0.4

中国向け輸出金額 内訳								
	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	18.9	12.6	10.3	9.6	16.0	10.8	100.0	10.8
食料品	73.8	72.8	44.5	40.1	25.2	16.2	0.9	0.1
原料品	53.5	39.0	71.4	48.9	42.3	4.4	2.1	0.1
鉱物性燃料	▲6.7	▲23.3	▲1.8	▲1.8	39.2	25.4	0.5	0.1
化学製品	20.3	25.4	24.1	18.6	22.1	15.1	17.2	2.5
原料別製品	19.1	8.9	10.6	26.0	26.8	23.1	11.9	2.5
鉄鋼	23.6	5.9	23.6	32.4	47.3	48.8	3.5	1.3
非鉄金属	8.0	6.3	▲5.6	41.6	25.2	22.9	3.6	0.8
金属製品	34.8	10.3	22.1	16.7	14.0	10.0	1.7	0.2
一般機械	13.5	5.6	10.1	12.9	22.7	5.6	22.1	1.3
電気機器	24.5	15.0	17.6	13.0	14.3	16.9	22.3	3.6
半導体等電子部品	19.7	11.2	16.8	27.0	25.3	28.7	7.4	1.8
I C	15.3	10.6	20.3	30.6	31.4	32.3	5.2	1.4
映像機器	▲9.1	▲11.7	11.8	▲31.6	▲9.4			
映像記録・再生機器	▲8.6	▲6.9	19.5	▲31.6	▲10.6	2.3	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	99.3	▲20.0	▲26.3	28.5	▲38.8	▲22.3	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	16.8	16.8	13.8	4.0	5.0	13.0	3.7	0.5
輸送用機器	13.4	▲5.5	▲43.7	▲33.8	▲8.9	14.9	10.4	1.5
自動車	13.6	▲11.2	▲71.9	▲46.8	▲8.3	30.6	6.6	1.7
自動車の部分品	13.1	2.1	▲3.3	▲15.1	▲10.6	▲4.6	3.6	▲0.2
その他	16.4	17.4	20.1	2.5	8.0	▲6.1	12.6	▲0.9
科学光学機器	2.5	1.5	1.3	5.6	14.3	0.0	3.9	0.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成